



# 未来を拓く、GIGA スクール

☎ 学校教育課… ☎ 055 (223) 7321 / 学事課… ☎ 055 (223) 7322

私たちのまちでは、文科省のGIGA スクール構想※1を推進し、子どもたちがデジタル社会を生き抜く力を育てています。2021年には全ての児童生徒に1人1台端末を導入し、2024年には高速インターネット回線を整備。今回は、これまでの市の取り組みと先進事例として注目を集める学びの現場をご紹介します。

※1 文部科学省が打ち出した政策。Global and Innovation Gateway for Allの略。「全ての児童生徒にグローバルで革新的な入り口を」の意



石田小4年生の算数。課題に対して、一人で進める子、友達と一緒に進める子、先生に確認する子、それぞれが自主的に学びを進める複線型授業で進められていた。

## 市の取り組み

## 甲府市の GIGA スクールの取り組みについて 松田教育長に聞いてみました

### Q 1. なぜ GIGA スクールを推進？

A 1. グローバル社会で活躍できる力、情報活用能力やコミュニケーション能力など、これからの社会に必要な力を育む教育を推進します。



### Q 3. 子どもたちに身につけてほしい力は？

A 3. 自ら学び、考え、行動する力。デジタルツールを駆使して、主体的に情報を収集し、課題解決に向けて粘り強く挑戦する力を育みます。



### Q 2. 教育委員会はどんなサポートを？

A 2. GIGA スクール構想は、子どもたちの未来を拓く取り組みです。教育委員会は学校現場の声を聞きながら、必要な支援を継続していきます。



共に未来の教育を創造していきましょう！

未来を担う子どもたちのために、GIGA スクール構想を通して、一人一人の可能性を引き出す新しい学びが始まっています。教員も授業で活用できるように研修を毎年行っています。



市教育委員会  
松田教育長

### 甲府市GIGAスクールの歩み

- 2021. 5 全36校に Chromebook 配布
- 2021.10 Google for Education パートナー自治体プログラムへ参加
- 2022. 8 第1回甲府市ジュニアICTリーダー研修開始
- 2022.12 第1回全国ジュニアICTリーダーサミット開催
- 2023. 4 石田小・南西中が文科省リーディングDXスクール指定校に選定
- 2024. 4 全校が SINET(高速ネットワーク)に接続し、ネットワーク環境を整備

### 使っている GIGA 端末

Chromebook といいます

GoogleWorkspaceで授業の課題を共有

AI型学習ドリルで単元の予習・復習  
自宅へ持ち帰っても利用可能

児童が健康状態や体調を入力し集計

最大10Gbps  
高速大容量回線でインターネット利用



データ利活用、生成AIにも取り組み始めました



▲指導力向上のための教員研修(毎年実施)

文部科学省  
リーディング DX学校事業

GIGA 端末利活用の好事例を展開するリーディング DX 学校指定校※2として以下2校が選定されました。石田小は生成 AI パイロット校※2にも選定されています。

※2 リーディング DX 学校指定校は全国約100自治体の約250校。生成 AI パイロット校は全国約40自治体の約60校で構成されている(県内では指定校は3自治体の6校、生成 AI パイロット校は石田小のみ)

精力的に GIGA を推進  
風土も先進的な  
市立石田小学校



子どもたちを  
次代へしっかり導くのが  
僕らの使命だから

本校へ赴任した初年度、1年かけて研修を重ね、全教員が Google 認定教育者の資格を取得。そのかいあってチャットでの連絡など、校務 DX により、私たち教員の煩雑な業務は改善されつつあります。今後さらに高次元のデジタル社会となるでしょう。一人一人の子どもたちが主体となる授業がしたい、そんな思いで日々の教育活動を行っています。

時代の転換期  
子どもたちの可能性を  
大きく引き出せるように



4年1組担任  
川村先生

新しい学び方  
“複線型授業”に取り組む  
市立南西中学校



クラウドで  
つながっているからこそ  
できることが増える



ひとつの授業で  
個々に学びを進めていく  
より深い学びが可能に

端末があるので授業用のプリントの印刷も不要に、会議の時間調整の手間もなくなりました。生徒の様子が把握しやすくなり、子どもたち全体の理解度も上がっていると感じます。本校で今、取り組んでいるのは“複線型授業”。変化の激しい未来に向けて子どもたちが自分で学び方をつかみ、さまざまな課題にチャレンジしていける力を育てています。



1年1組担任  
小西先生

おふたりへのインタビュー、詳しくはこちらへ▶



子どもたちは

1人1台の端末は 今や好奇心や探究心を  
満たしてくれる、必需品になりました



きもちメーター※3で  
さあ今日も学校が  
はじまる！って思う



※3 子どもたちが選択式で簡単に自分の体調や気分などを報告できるアプリ



▲「きもちメーター」は今年5月から全小・中学校で順次使用開始

タイピングで1級に！

ゲームみたいにタイピング練習できるソフトがあつてはまりました。ぼくはそれで1級をとれたんだ!! 全国にはつわものがいることも知ることができました。



(小学生)

コロナとひきかえに！

コロナで休校になったり、運動会や遠足もなくなった年があつたりしたけど私たちには端末が与えられました。何だか目の前の大きな扉がいつ്പんに開かれた感じです。



(中学生)

使うのが待ちどおしい

今日はいつどんなふうにするのかなって思う。端末を使って自分の課題を自分で学べるのが楽しいです。



(小学生)

たよれる相棒！

わからないことをすぐ調べられるし、みんなのアイデアを参考にできるのがいい。端末だと自分の考えもまとまりやすい気がする。



(中学生)



▲出来上がった作品を自分で撮影(小学図工)



▲タイマーやグラフを活用して実験(中学理科)